



動画や展示内容、カタログ
をご覧ください。

2025年6月30日まで

土砂・流木対策

細粒土砂の流出による災害を防止 土砂捕捉スクリーン

簡易に設置が可能な新しい砂防施設

「土砂捕捉スクリーン」は中長期的な細粒土砂の流出による災害を防止すること、かつ簡易に設置が可能な新しい砂防施設として株式会社建設技術研究所とシバタ工業株式会社が共同で開発しました。特に、山地部に近い新興住宅地や山間地で流末水路が十分でない集落等において、豪雨災害後の土砂による氾濫被害を防止・軽減いたします。



溪流保全工に連続配置できる流木捕捉工 流木スクリーン

流木スクリーンは、掃流区間に適用できる流木捕捉工です。縦断方向に長い断面構造は、流木捕捉時の外力に対して、転倒に安定した構造で、捕捉面積が広く、かつ捕捉面が傾斜構造となっているため、流水と流木を分離しやすく、効率的に流木を捕捉します。

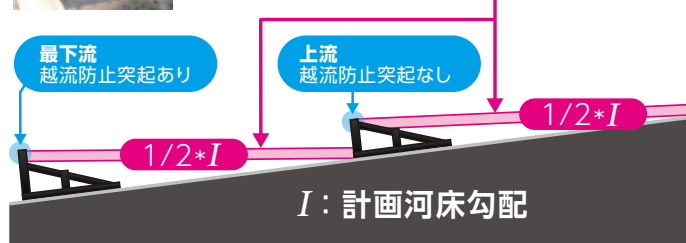
流木捕捉のしくみ



流木捕捉・連続配置について

流路工に設置する場合、1基で計画流木捕捉量を満たさない場合は、流下方向に連続設置することで計画流木捕捉量を満たすことが可能です。この場合、最下流の流木スクリーンは突起を設けますが、上流側の流木スクリーンには突起を設けない構造とすることで、分散して流木を捕捉します。

$$\text{計画捕捉流木量} = \text{水面面積} \times \text{流木の平均直径}$$





道路の地震 防災対策



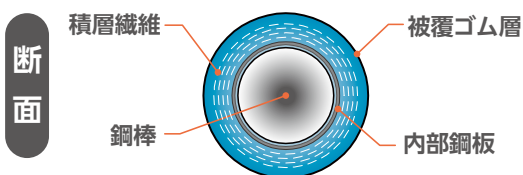
水平力分担構造・横変位拘束構造・落橋防止構造

PRF緩衝ピン

兵庫県南部地震では、高速道路等の高架橋において、橋桁のずれ、落下などの被害があり、橋桁の連結材と鋼製ピン間に衝撃力が発生し、連結板が破損した事例があります。そこで、弊社では、**緩衝効果を持つアンカーバー構造**として鋼棒に緩衝材（PRF構造）を設けた「縦型緩衝ピン」を開発し広く展開してきました。さらに「PRF緩衝ピン」は、鋼棒と緩衝部を脱着可能とし、従来の性能を有しながら、施工性や維持管理を容易とする特長をプラスした新たな構造としてご提案いたします。



特長



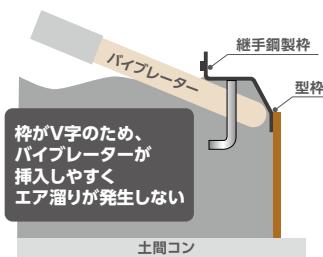
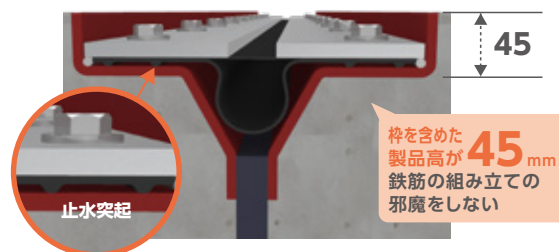
優れた荷重分散効果と衝撃緩和効果
高い施工性と多様な取付けシーンに対応
メンテナンスフリーと維持管理の容易性

鋼製枠付可とう継手

RN-F型

コンクリート建造物の不等沈下・伸縮による目地幅の変位に追従する薄型可とう継手

RN-F型は“薄さ”を活かした“コンパクト構造”により、鉄筋の組立てやコンクリート打設時の施工性向上、エア溜りの軽減を可能にします。さらに固定部に止水突起構造を採用することで、安定した高い止水性を実現しました。



建設技術展2024関東 特設サイト

動画

商品情報

施工事例

など、展示会の内容をご覧ください。



<https://www.sbt.co.jp/kengi2024>

2025年6月30日まで

シバタ工業株式会社

- 本社・工場 〒674-0082 兵庫県明石市魚住町中尾1058 TEL(078)946-1515
- 東京支社 TEL(03)6859-1160
- 神戸支社 TEL(078)389-6030

メールアドレス Sales@sbt.co.jp

<https://www.sbt.co.jp/>

